

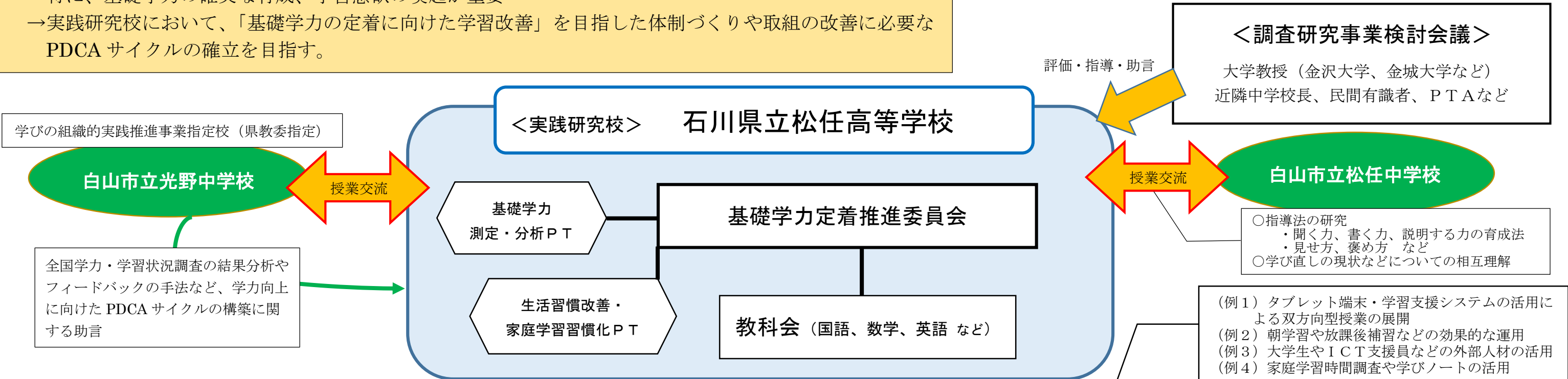
# 「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」事業概念図 <石川県教育委員会>

## 調査研究の趣旨

産業のグローバル化、急速な技術革新により求められる人材が変化  
 →自ら課題を見つけ、その課題を解決することができる人材の育成が急務  
 →基礎的な知識の習得と理解、思考力・判断力・表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度の醸成が必要  
 →特に、基礎学力の確実な育成、学習意欲の喚起が重要  
 →実践研究校において、「基礎学力の定着に向けた学習改善」を目指した体制づくりや取組の改善に必要なPDCAサイクルの確立を目指す。

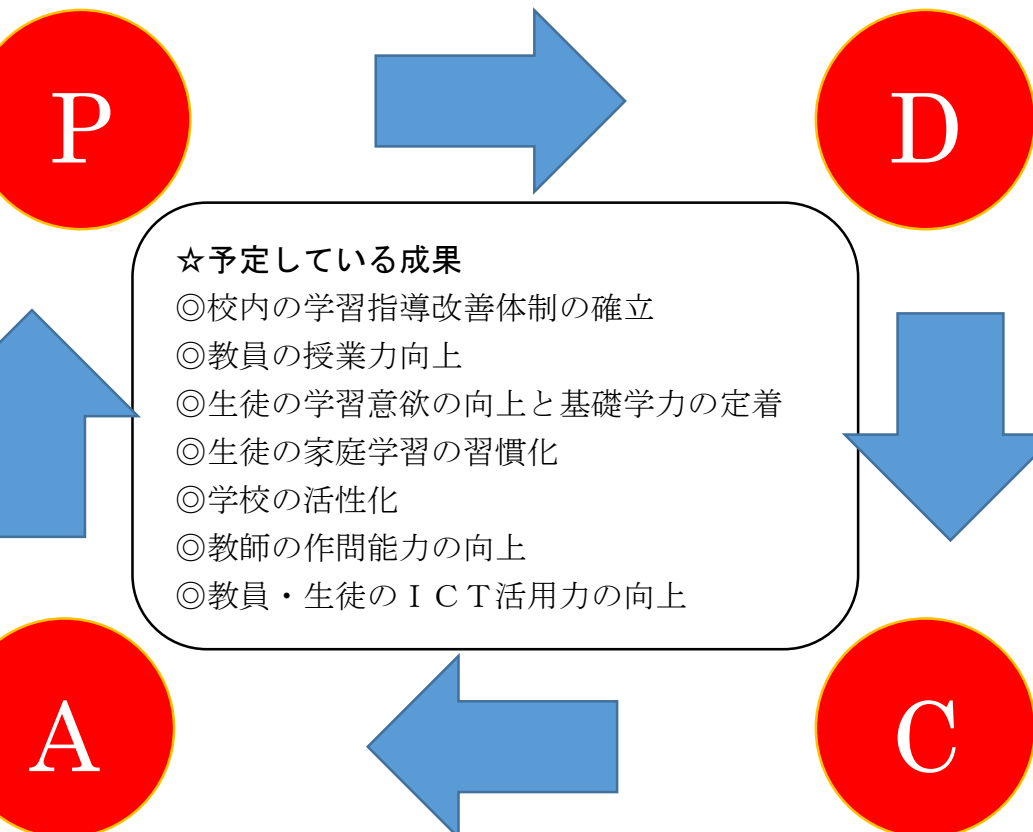
## 調査研究の目的

- ①基礎学力の定着に必要な学習指導体制を確立する。
- ②学習意欲を喚起する学習指導の在り方を検討する。
- ③学習改善を図るためのPDCAサイクルを構築する。



**I. 基礎学力の定義と現状把握及び 研究計画・指導計画の作成**

- 学力スタンダード (指導計画書) の作成による基礎学力についての共通理解
- 生徒の入学時の基礎学力、生活習慣、学習習慣の現状把握 (基礎力診断テスト・アンケート等の実施・分析)
- 現状を踏まえた研究計画・指導計画の作成



**II. 基礎学力の定着に向けた学習改善の取組**

- 学習指導改善のための取組
  - ・基礎学力定着推進委員会の定期的な開催
  - ・ICT活用による授業改善
  - ・先進校視察
  - ・校内研修会の実施
  - ・アクティブラーニングによる授業実践
- 家庭学習の習慣化に向けた仕組みの構築
- 近隣中学校との相互授業交流
- 新規独自テスト問題の作成の取組

**IV. 取組結果に基づく指導改善**

- 研究成果と改善点の取りまとめ
- 指導改善の推進
- PDCAサイクルの確立と成果の普及
- 教育課程などの見直しの検討

**III. 基礎学力の定着度の測定及び分析**

- 基礎力診断テストの継続的な実施と分析
- CBTを想定したテスト実施方法の検討
- 学力調査の活用研究についての小中学校との連携
- 調査研究事業検討会議の開催